

※評価委員会評価がs、a、b、c、d
の評価のうち、b（概ね達成）以
下の評価項目（小項目）に対する
反映状況を掲載

公立大学法人長野県立大学

評価結果反映状況一覧
【第1期中期目標の期間における業務の実績に関する評価結果報告書版】

評価項目（全体評価・大項目・小項目）		委員会評価の ↑↓	評価における主な指摘事項 ＊小項目順に記載	法人の業務運営等への反映状況（R6年度以降）	自己 評価第 1期
大項目	小項目 評価委員会の評価がb又はcであった項目				
1	10	b	（学生の英語力向上） 目標達成のため種々の具体的な対応がなされ、TOEIC 平均点を伸ばしたことを評価するが、目標値に達しなかった。 2年次終了時に留まらず、在学4年間を通して、英語力を向上させる教育目標や機会の提供を検討いただきたい。	・令和6年度からグローバルマネジメント学部では新たに2年次3学期末のTOEIC-IP受験を追加し、結果を「Career English I」の成績の20%として反映することとした。また、従来からTOEIC-IPの受験結果を反映していた「Career English II」において反映割合を30%から40%に高め、学生が高スコアを目指す意欲の向上を図った。 ・令和6年度より3・4年次科目のカリキュラム改革を実施し、学生の多様な関心を喚起するような科目群を開講することとした。 ・3・4年次選択英語科目に関するオンライン説明会や履修登録期間における各科目の紹介により、履修を促した。	B
5	37	c	（科研費の申請率、採択） 科学研究費補助金の継続者を除く新規申請率は目標値に達していないためc評価とした。 県立大学は長野県のシンクタンクとしての役割を期待されているため、県の政策と関連した研究への取り組みや、県のデータの県立大学への共有・研究への活用など、相互連携を深め、より良い長野県の実現に向けて取り組んでいただきたい。	・令和6年度中に本学教員による研究代表者としての科研費の申請率は、継続者を除いて29%（18人/62人）、採択率は28%（5人/18人）となった。 ・教員による令和6年度科研費の研究課題は計59件（研究代表者30件、分担者29件）となり、令和5年度から増加した。 ・科研費申請・採択の促進策として、外部の科研費添削サービスをの活用や申請書の提出前に職員による記入不備や誤字脱字等の形式チェックにより、申請促進を図った。	C